

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月2日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府河内長野市楠町東1752-1 氏 名 ホクシン建設株式会社 代表取締役 北原 新作 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0721-62-5735	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ホクシン建設株式会社 大阪府内事業場
事業場の所在地	大阪府内各所
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	4,677,507千円
③従業員数	32名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【解体工事】 ・がれき類（アスファルト、コンクリート塊）→再生処理業者へ委託、再生砕石として再資源化 ・木くず→再生処理業者へ委託、チップ（合材燃料用）として再資源化 ・混合廃棄物→再生処理業者へ委託、選別作業を行い再資源化 ・石綿含有産業廃棄物→処理業者へ委託、管理型埋立 【造成工事】 ・がれき類（アスファルト、コンクリート塊）→再生処理業者へ委託、再資源化 ・混合廃棄物→再生処理業者へ委託、選別作業を行い再資源化

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
代表取締役	
↓	
取締役 (産業廃棄物処理統括責任者)	
↓	
現場所長 (産業廃棄物処理責任者)	
↓	
現場担当者 (産業廃棄物処理担当者)	
↓	
協力会社 (収集運搬業者、中間処理業者、最終処分業者)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	排 出 量	498.41 t	808.08 t
	(これまでに実施した取組) 現場での分別指導の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	排 出 量	200 t	500 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取り組みを継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類と木くずは分別するとともに石綿含有産業廃棄物についても他の廃棄物に混入しないように確実に分別処分を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別に関する情報収集

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
7019.59 t	3571.71 t	85.961 t	0.875 t
【目標】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
3000 t	1000 t	20 t	— t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
がれき類（石綿含有産業廃棄物）	—	—	—
51.06 t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	－
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	－
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
がれき類（石綿含有産業廃棄物）	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和6年度）実績】			
がれき類（石綿含有産業廃棄物）	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	全処理委託量	498.41 t	808.08 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い業者を選定、書面による契約の実施		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

コンクリート破片	アスファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	－
－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

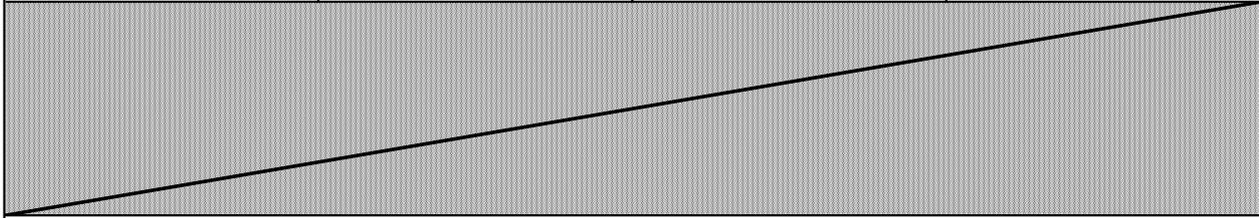
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
7019.59 t	3571.71 t	85.961 t	0.875 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

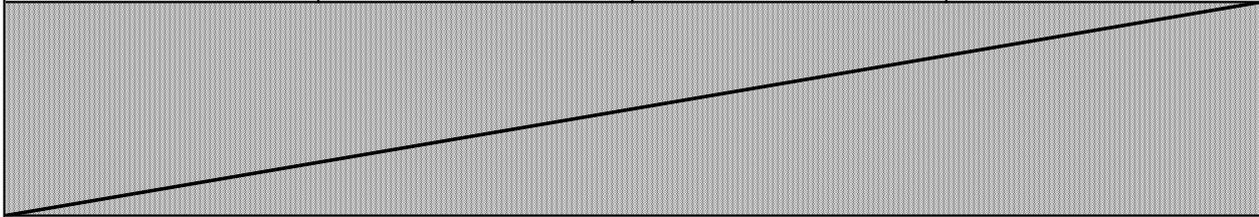
【前年度（令和6年度）実績】

がれき類（石綿含有産業廃棄物）	—	—	—
— t	— t	— t	— t



【目標】

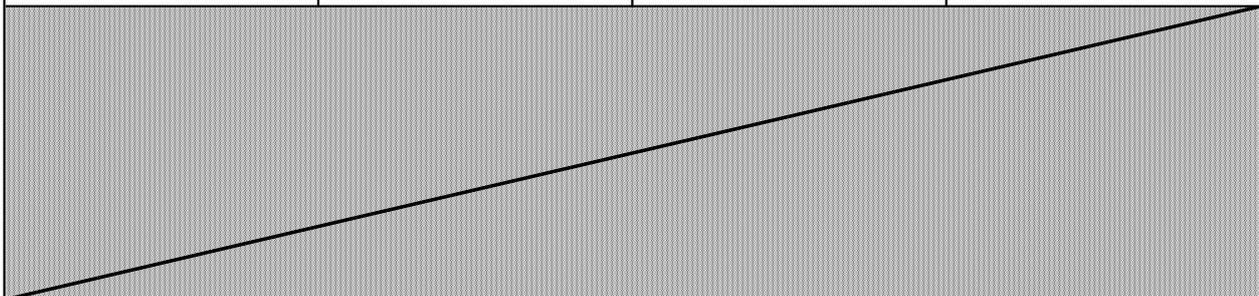
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

がれき類（石綿含有産業廃棄物）	—	—	—
51.06 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	がれき類
	全処理委託量	200 t	500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	200 t	500 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 委託基準に従い業者を選定、書面による契約の実施			
※事務処理欄			

【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
3000 t	1000 t	20 t	— t
1000 t	200 t	— t	— t
3000 t	1000 t	20 t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

